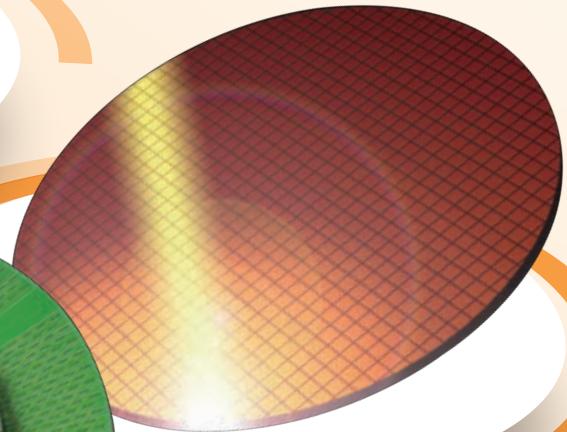
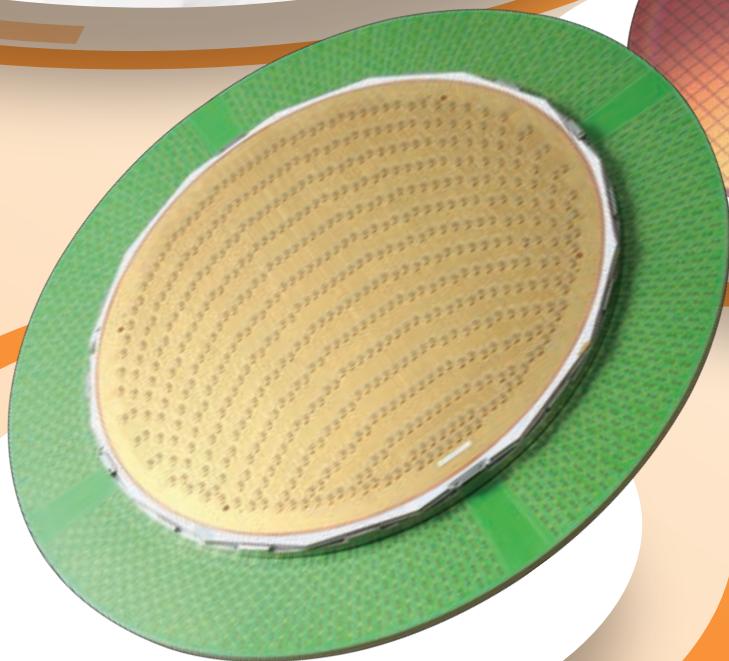


第56期 第2四半期のご報告

2014年4月1日~2014年9月30日

BUSINESS REPORT

JEM TODAY



JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION

日本電子材料株式会社

証券コード 6855

株主の皆様へ

日頃より格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。2014年度第2四半期連結累計期間（2014年4月1日～2014年9月30日）の事業の概況をご報告いたします。

今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2014年12月



代表取締役社長
風間 悦男

事業の経過および成果

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、消費税率引き上げに伴う駆け込み需要の反動や海外景気の下振れリスクの影響が懸念される状況が続いたものの、政府の経済政策を背景に緩やかな回復基調が続きました。

当社グループの主たる事業分野である半導体市場につきましては、スマートフォン向け需要が新興国における市場の拡大や新製品の発売によって増加し、また半導体メーカーにおいては設備投資が進展する等、緩やかな回復傾向となりました。

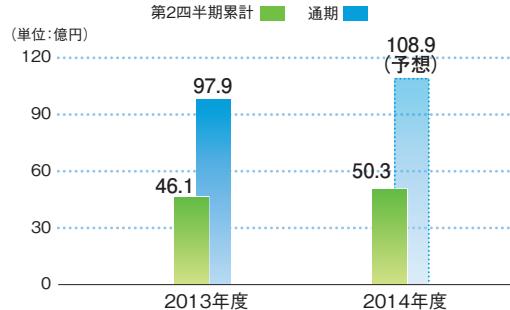
このような事業環境の中、当社グループといたしましては、アドバンスプローブカードの拡販を中心に販売

強化を行いました。ロジックIC向けにつきましては、国内の本格的な需要の回復は遅れたものの、海外向けの拡販を推し進めました。メモリーIC向けにつきましても、スマートフォン等に需要が拡大しているNAND型フラッシュメモリー向けを中心に販売を強化し、アドバンスドプロブカードの拡販を進める事ができました。以上により、売上面につきましては前年同期を上回る結果となりました。利益面につきましては、プロダクトミックスの改善、アドバンスドプロブカードの受注増加に伴うMEMS製造ラインの稼働率向上やVA活動による原価低減効果、および為替差益等により、前年同期を大きく上回る結果となりました。

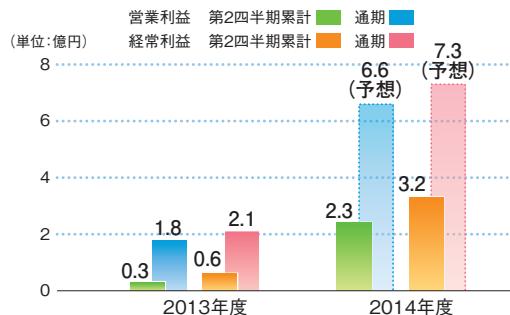
以上の結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高50億3千5百万円(前年同期比9.0%増)、営業利益2億3千7百万円(前年同期比539.9%増)、経常利益3億2千7百万円(前年同期比394.1%増)、四半期純利益3億8百万円(前年同期は四半期純利益1千6百万円)となりました。

業績の推移

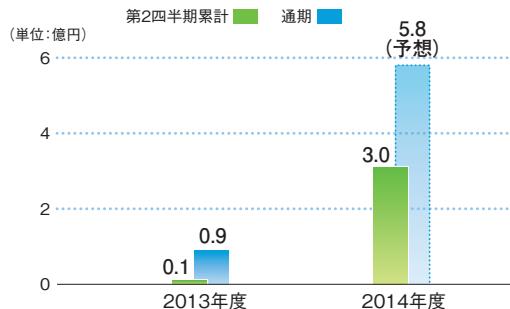
○売上高



○営業利益・経常利益



○四半期(当期)純利益



※記載金額未満は切り捨てて表示しております。

半導体の品質を支える。

スマートフォン、タブレット端末、ハイブリッドカー等多くの製品を支えている半導体。

当社グループは、半導体の品質を支える上で必要不可欠なプローブカードの開発、製造、販売を行っております。

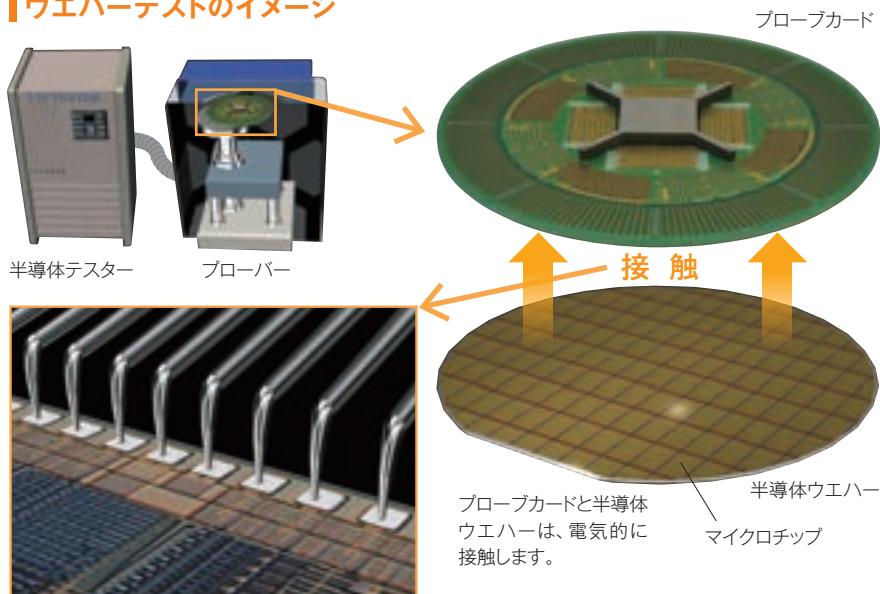
プローブカードの役割

プローブカードは、半導体の製造工程の内ウエハーテストと呼ばれる工程において用いられます。

半導体ウエハー上に形成された電子回路が集積されたマイクロチップの電極に、最大数万本のプローブ(針)を接触させ、電気信号を半導体テスターに伝える重要な役割を担っております。

その為、優れた電気的特性やミクロンオーダーの組立精度が求められます。

ウエハーテストのイメージ



回路の電極にプローブ(針)が接触、半導体ウエハー側に電気信号を伝えます。

アドバンスドプローブカード

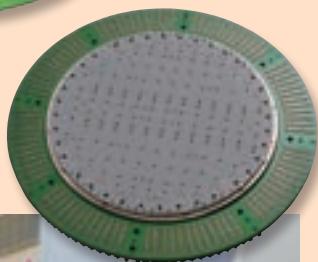
半導体ウエハー上に形成されたマイクロチップを同時に多数測定することに優れた当社の主力製品です。スマートフォンにも搭載されているNAND型フラッシュメモリー等の検査に使われています。また、よりたくさんのプローブを搭載し高密度なプローブカードを生産する為、MタイププローブカードではMEMSと呼ばれる高度な技術も用いられています。





Mタイプ
プローブカード

Vタイプ
プローブカード



MEMS製造ライン



技術の開発と製品化により 社会に貢献する。

半導体は、社会インフラを支えるIT基盤の中核技術として、また省エネルギーや環境に配慮した製品の基幹部品として、その重要性はますます高まっています。日本電子材料株式会社は1970年に日本で最初にプローブカードの製造を開始し、エレクトロニクス産業の成長に貢献してまいりました。そしてこれからも、プローブカードを通じて半導体の品質を支えるとともに、技術の開発と製品化により、社会に貢献する企業であり続けます。

四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結会計期間 (2014年9月30日現在)	前連結会計年度 (2014年3月31日現在)
資産の部		
流動資産	10,598	10,392
固定資産	2,809	2,965
有形固定資産	2,429	2,548
無形固定資産	118	108
投資その他の資産	262	308
資産合計	13,408	13,357
負債の部		
流動負債	2,771	2,704
固定負債	881	994
負債合計	3,652	3,699
純資産の部		
株主資本	9,819	9,556
資本金	983	983
資本剰余金	1,202	1,202
利益剰余金	7,648	7,385
自己株式	△ 15	△ 15
その他の包括利益累計額	△ 139	△ 35
その他有価証券評価差額金	1	12
為替換算調整勘定	△ 149	△ 55
退職給付に係る調整累計額	7	7
少数株主持分	75	137
純資産合計	9,755	9,658
負債純資産合計	13,408	13,357

四半期連結損益計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)
売上高	5,035	4,618
売上原価	3,400	3,285
売上総利益	1,634	1,332
販売費及び一般管理費	1,397	1,295
営業利益	237	37
営業外収益	96	48
営業外費用	6	19
経常利益	327	66
税金等調整前四半期純利益	327	66
法人税等合計	80	62
少数株主損益調整前四半期純利益	246	3
少数株主損失(△)	△ 61	△ 13
四半期純利益	308	16

四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

科目	当第2四半期 連結累計期間 (2014年4月1日から 2014年9月30日まで)	前第2四半期 連結累計期間 (2013年4月1日から 2013年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	518	59
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 358	493
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 348	△ 591
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 41	136
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△ 230	97
現金及び現金同等物の期首残高	2,952	2,308
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,721	2,406

株式事項

(2014年9月30日現在)

発行可能株式総数	40,000,000株
発行済株式の総数	10,604,880株
株主数	6,145名

大株主

(2014年9月30日現在)

株主名	持株数	持株比率
(有) 大久保興産	1,316千株	12.43%
日本トラスティ・サービス信託銀行(株)	660	6.23
大久保和正	435	4.11
大久保英正	406	3.83
(株) 三菱東京UFJ銀行	309	2.91
大久保昌男	290	2.73
古山陽一	260	2.45
ビーエヌワイエム エスエーエヌブイ ビーエヌワイエム クライアント アカ ウント エムピーシーエス ジャパン	241	2.28
日本マスタートラスト信託銀行(株)	194	1.83
日本電子材料社員持株会	193	1.82

(注)持株比率は、自己株式(15,350株)を除いて計算しております。

会社概要

社名	日本電子材料株式会社
英訳名	JAPAN ELECTRONIC MATERIALS CORPORATION
住所	兵庫県尼崎市西長洲町2丁目5番13号 TEL.06-6482-2007 (代表)
設立	1960年4月6日
資本金	983,100千円
事業内容	●半導体検査用部品(プローブカード)の 開発・製造・販売 ●電子管部品の製造・販売
株式市場	東京証券取引所市場第1部
証券コード	6855

役員

(2014年9月30日現在)

代表取締役社長	風間悦男
取締役副社長	大久保和正
取締役	大澤茂巳
取締役	足立安孝
取締役	森隆一郎
取締役	坂田輝久
常勤監査役	竹原克尚
監査役	田村耕一
監査役	濱田幸和

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月中
基準日	定時株主総会 … 3月31日 剰余金の配当 … 期末配当 3月31日 中間配当 9月30日
単元株式数	100株
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 電話 ☎0120-094-777 (通話料無料) ホームページ http://www.tr.mufg.jp/daikou/
公告の方法	日本経済新聞に掲載して行います。

- (注) 1. 株主様の住所変更、買取請求、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等へお問合せ下さい。
2. 特別口座に記録された株式に関するお手続きにつきましては、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せ下さい。なお、三菱UFJ信託銀行全国各支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金に関するご照会などは三菱UFJ信託銀行にお問合せ下さい。



〒660-0805 兵庫県尼崎市西長洲町2丁目5番13号
<http://www.jem-net.co.jp/>